

建築学科

学科理念・教育目標

建築学科は、「室内から都市全体の環境に至るまでを、快適な人間生活のための空間として総合的に計画し造形し得る人材を育てる」建築デザイン教育を基本理念とし、1965年に創設されました。価値ある生活環境の創出を目指し、幅広い教養、工学的知識と造形能力を身につけた建築家・デザイナーを育てることを目標としています。建築学科では教育において、以下の視点を重視しています。

○ 建築には、人間の活動を支え、居場所となる良質な環境をつくる役割があります。室内から住宅、各種の建築、都市、地域、地球環境まで、人間の関わる空間すべてが学びの対象です。課程も自然科学、人文科学、社会科学、芸術学の領域に広がります。

○ 建築は、常に社会の仕組みと不可分の存在であり、建築行為はこの社会の仕組みに働きかけ、新たな社会の創造に関わります。建築を価値の表象としてとらえ、歴史的考察や現状把握のための分析能力を養います。

○ 建築は、常にそれが立地する場所に関わります。空間を構成する造形能力を習得するだけでなく、人間の生活の基盤である場所や地域と建築との有機的で豊かな関係の構築を考察します。

こうした内容を具体的な空間の設計として集約し、総合化する演習を最も重視しています。学部4年間を通じて、全員が必修科目として学ぶ「設計計画」は、その絶えざる探求にほかなりません。

造形学部のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

- DP1 専門的な知識を理解し深めることができる。
- DP2 専門分野の基盤となる文化や諸科学について総合的に理解している。
- DP3 制作・研究を深め広げる技能を身につけている。
- DP4 他者に伝える表現能力および他者とともに考える対話能力を身につけている。
- DP5 批判的思考を働かせ、課題や主題を自主的に設定することができる。
- DP6 論理的思考・創造的思考を働かせ、独創的な課題解決の判断や構想ができる。
- DP7 制作・研究に幅広い関心と高い意欲を持ち、社会のなかで主体的に取り組むことができる。

科目区分		1年次	2年次	3年次	4年次	
造形総合科目	I 類必修科目	造形総合・絵画 I 造形総合・彫刻 I				
	I 類選択必修	造形総合・絵画 II 造形総合・彫刻 II 造形総合・デザイン II 造形総合・工芸 II 造形総合・メディア表現 II				
学科別科目	I 類必修	設計計画 I-1 建築設計基礎 設計計画 I-2 建築設計表現 図学	設計計画 II-1 設計計画 II-2	設計計画 III-1 設計計画 III-2	設計計画 IV	
	II 類必修	構造デザイン I	計画原論 A 建築構法 建築計画 A 建築材料学・実験 I 構造力学 I	都市デザイン A 建築設備・実験 I 建築計画 C 建築意匠 A 建築法規 I 建築意匠 B 建築施工 I		
	II 類選択	構造力学基礎 基礎数学	写真表現			
			建築概論 A 都市デザイン B 建築概論 B 建築施工 II 建築計画 B 建築法規 II 計画原論 B 構造力学 II	構造デザイン II 建築設備・実験 II 建築材料学・実験 II 造形演習	環境計画 a 環境計画 b ランドスケープデザイン近代史 ランドスケープデザイン概論	建築形態論 庭園史 基礎造形
	エクステンジ・プログラム I エクステンジ・プログラム II	コラボレイティブ・プログラム I コラボレイティブ・プログラム II				
卒業制作					卒業制作	